

# 平成27年度 三河港背後圏企業動向把握調査 実施概要 (国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所 委託事業)

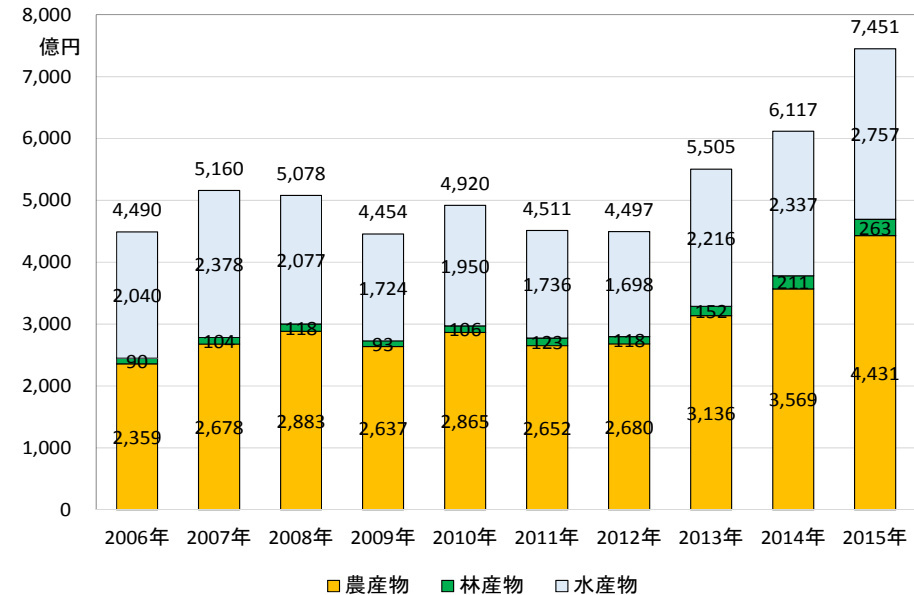
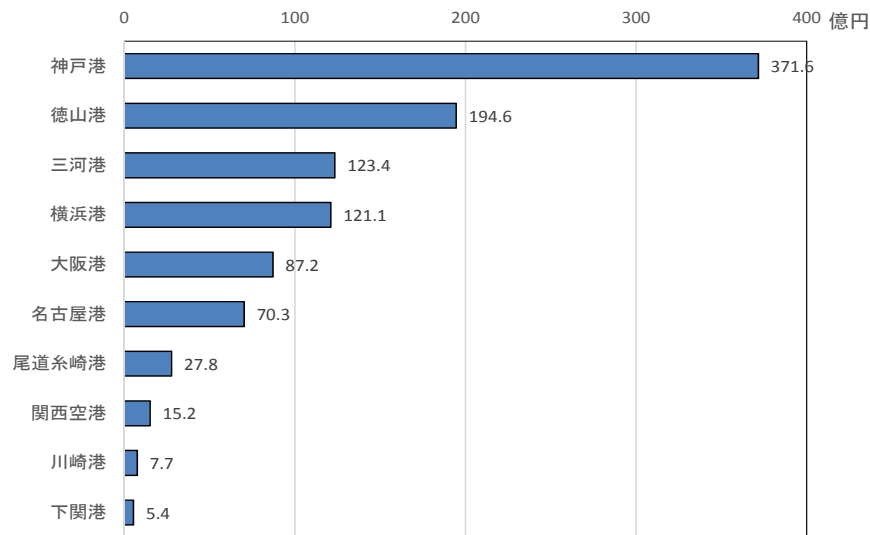
## 1. 業務の目的

本作業は、三河港の背後圏に立地する企業の動向および三河港のコンテナ貨物の取扱状況について収集整理を行い、三河港の利用促進の基礎資料を作成した。

## 2. 業務の概要

三河港の外貿コンテナ貨物の取扱状況について、三河港統計年報から情報を整理した。また、三河港背後地に立地する企業等の港湾貨物の動向について、鉄道車両・建設機械、農産物などの特徴的な貨物の物流動向を整理し、期待される港湾整備についてとりまとめた。

## 3. 業務の結果(一部抜粋)



### ■鉄道車両の輸出港湾の動向

2015年に鉄道車両の輸出を取り扱った港湾等の上位10位をみると、神戸港が371.6億円、徳山港が194.6億円、三河港が123.4億円、横浜港が121.1億円、大阪港が87.2億円、名古屋港が70.3億円の順である。

### ■農林水産物・食品の輸出実績

日本の農林水産物・食品の輸出額の推移をみると、2009年の世界的な不況や2011年の震災等の影響によって減少した年もあったが、2013年以降は拡大を続けている。2015年には過去最高額の7,451億円となった。